

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。

（メール）tohonbunkenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労

のとうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所

全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644(代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる（〒60円）

建交労東京都本部22春闘討論集会開催

12月5日（日）東京トラックス健保会館にて、建交労東京都本部22春闘討論集会を開催し37名が参加しました。石塚副委員長による開会あいさつと座長就任を経て、松田委員長より主催者挨拶がありました。続いて、建交労東京顧問弁護士である笹山尚人弁護士より「労働法制改悪阻止を目指して・労働法の力・今こそ労働組合の出番」と題した記念講演が行われました。解雇の金銭解決合法化や裁量労働制の対象拡大、労働者の業務委託・個人事業主化など、政府が推進しようとしている労働法制改悪の動きに触れ、労働組合として当面は、現状の労働法制を

守り、非正規雇用に関する差別禁止の実現と、真実の同一労働同一賃金を確立し、誰もが人間らしく働き暮らせる雇用・社会を目指す運動の必要性を訴える内容でした。その後、都本部22春闘方針第一次案を提起しました。建交労東京には、トラック・バス・ゴミ収集車運転手、鉄道関連職員、公園清掃員、ビルメン、学童指導員、介護士など緊急時代宣言下においても通常業務を行い、ライフラインを維持してきたエッセンシャルワーカーの仲間が多く加盟しています。その社会的役割に相応しい賃金と待遇を求める運動と共に、コロナによって業務縮小や休業に

追い込まれた労働者を守り、中小企業へのコロナ対策支援や、雇用調整助成金特例処置の縮小を阻止する運動を昨年に引き続いての春闘課題としてとりくむこと、その他、要求提出日などのスケジュール、22春闘統一要求基準等について提案しました。全体討論で5つの組織より来春闘に向けた決意表明があり、清水副委員長による閉会挨拶、松田委員長による団結がんばろうで終了しました。

22春闘は新型コロナウイルス感染状況が不透明な中でたたかわれますが、健康を第一にしながら団結して要求前進を勝ちとろうではありませんか！

【書記長 遠藤 晃】
「建設関連の職場で働く仲間の労働条件改善を」をメインスローガンに、東京建設・関連部会は、12月1日（水）、JR中野駅北口で宣伝行動を開催しました。東京都本部の仲間の他、中野労働副議長や年金者組合支部長、建交労中央本部の仲間が駆けつけ、全体で12名、約300枚のチラシ入りティッシュを配布しました。建築設計支部いしずえ分会の「ろくしん要（かなめ）」さんによる三線の生演奏でスタート。いしずえ分会の金田正夫工学博士が、中野周辺の木造密集住宅街を引き合いにして、耐震防火の補助金の仕組みを説明。地球環境保護や、建築士・職人の仕事確保の観点から活用を訴えました。また、ゼネコンやコンサル、ビルメンテナンス、マンション管理の分野から、仲間がそれぞれの業界の課題や低賃金、長時間労働などの実態を訴え、労働組合加盟を呼びかけました。エンディングは「わりかん歌う会」の華やかな演奏で締めくくりました。参加頂いた仲間の皆さん、準備した仲間の皆さんありがとうございました！【東京建設・関連部会 事務局長 笹原 和樹】



開会挨拶をする松田執行委員長



講師の笹山弁護士(東京法律事務所)

コロナ禍に負けない！東京建設・関連部会 宣伝行動 in 中野駅前北口（東京都本部主催）



適正な業務報酬の実現、長時間労働の是正など、建設・関連の職種で働く仲間の労働実態の紹介と改善に向け、労働組合への結集を訴えました！

22春闘討論集会 質疑・討論



座長 石塚副委員長



議案提案 遠藤書記長

トを活用しながら全国オールド工
う予定。建交労や業界の様子を
発信し身近な問題としてアンケー
トに回答してもらおうよう工夫。
賃金制度を自ら作成・提案し能
動的活動に。組織推進委員会
40名の拡大目標を設定。職場
単位の分会が最重要と位置付け、
組合員が積極的に参加出来る分
会を目指し、分会運営マニユア
ルを11月から運用している。



グループ含め
91職場に対し
1月中旬～2月
にかけてリモー

神田支部

松崎 守男 常任執行委員

バス関連支部（京王新労組）
佐々木 仁 執行委員長



組合員に対す
る賃金・昇格・
雇用差別で、東
京都労働委員会

会において会社と和解に向けた
話し合いが始まった。和解の話
は初めてではない。約20年前
の第一次争議で自分に対する
「生涯賃金と引き換えに会社を
辞める」という会社からの和解
提案以後、繰り返し行われた退
職と引き換えの金銭解決案を断
り、たたかいを継続してきた。
この度も慎重にすすみたい。ご
支援よろしくお願ひします。



生コンの出荷
量に左右される
非正規の生コン
運転手は調整弁

三多摩トランスポート分会
斎藤 芳和 執行委員長

関東支部
永井 英志 書記長



今年コロナで
出来なかった集
団交渉を来年は
開催したい。直

近10年は賃金が上がらず。1
年前の新賃金制度以後、若い
人のベアが獲得出来ず。清掃業
務が都から23区へ移管以後正
規職員が減らされ非正規が7割
に。組合員の拡大も困難な
状況。コロナ感染による人員不
足を雇上会社が休み返上で行う
事態に。今春闘では組合員拡大
を目標に奮闘したい。1月23
日支部の討論集会を開催予定。

神田支部
石塚 和 書記長



首都圏運輸集
団交渉団の取り
組みについて。
コロナ後回復が

観られる運輸業界。経済が動き
出している印象。1月の春闘討
論集会の前、12月に事務局会
議を開催。マンネリ化している
要求の見直しをはかる。組合員
にどう理解してもらい会社にぶ
つけるかが重要。1月中旬に春
闘討論集会開催を経て2月中旬
に要求決定、2月9日に要求提
出。厳しい日程だが全労連の方
針に合わせるよう努力したい。

11月10日（水）東京建設・関連部会 第23回定期大会開催

11月10日（水）建交労東
京建設・関連部会は第23回定
期総会を開催し、建築設計、コ
ンサル、ゼネコン、
ビルメン、マンショ
ン管理、測量、環
境計測、地質、不
動産、サブコン、
など建設関連職場
で働く仲間の1年
の活動総括と、新
たな1年に向けた
運動方針を採択し
ました。年度の前半は活動に制限が
あったものの、感
染が落ち着いて1
1月後半から12
月にかけては職場
訪問を再開。また、



建設関連業界の労働条件改善を目指し、団結してがんばろう！！

12月1日に中野で開催した宣
伝は、今後のに繋がる有意義な
行動となりました。リモート会
議が一般化している今日につい
て、直に会えないデメリットだ
けでなく全国の学習会等に気軽
に参加出来るなどメリットを活
かし、今後も活用することを確認。
今年度も、ゼネコン監督の
週休2日制（4週8閉所）の実
現や建築設計事務所働く設計
士の適正な業務報酬の実現、コ
ンサル業界で働く技術者の残業
時間の軽減、ビルメンやマンショ
ン管理業界で働く仲間の労働条
件改善に向け、建設首都圏共闘
会議や生公連との連携を深め奮
闘する決意です。総会後約1年
ぶりに開催した交流会は、仲間
と顔を合わせて交流する良さを
改めて実感するひと時でした。
また1年団結して頑張りまし
う！【東京建設・関連部会
事務局長 笹原 和樹】

組合掲示板

- 1月 8日（土）10時～都本部第4回
執行委員会／江東区文化センター（東陽
町駅）
- 1月13日（木）11時～22春闘闘争
宣言行動（丸の内仲通りデモ経団連前行
動）／厚労省前スタート
- 1月26日（水）19時～21国民春闘
総決起集会／なかのゼロホール（中野駅）
- 1月29日（土）～30日（日）建交労
第23回中央委員会／群馬磯部ガーデン
- 2月6日（日）13時半～第27回建交
労都本部委員会／ラパスホール（大塚駅）

～新型コロナについての相談・情報は
都本部までお寄せ下さい～
建交労東京都本部
☎03-3820-8644
✉tohonbukenkouro@smile.od
n.ne.jp

◆建築インターアジア太平洋セミナー
UITBB11月13日～14日
世界労連の建設産別組織、建築木
材建築資材労働組合インターナショ
ナル（UITBB）のアジア太平洋
地域におけるセミナーが2日間に渡っ
て開催された。コロナ禍における初
めてのリモート開催に、主催国の日
本は全労連や国交労組等が準備に追
われた。建交労からは中央本部廣瀬
書記長、福富書記次長が主催者とし
て出席。全国建設・関連部会から笹
原が参加した。キプロス、インド、
パキスタン、バングラディッシュ、
ベトナム、ウルグアイ、ガボン、ポ
ルトガルの労働組合役員が各国にお
ける建設労働者の現状を報告。移民
労働者の劣悪な労働環境など深刻な
発言が続く中、来年2022年にW
杯開催が決まっているキプロスから
の報告は、サッカー会場の建設現場
で約7000人の労働者が亡くなっ
ているという衝撃的なものだった。
未だ世界では多くの建設労働者が無
残な死を遂げている。世界中の全
ての労働者が幸せな年末年始を迎え
る事が出来るその時まで世界の労働組
合と手を取り合いたたか決意です。